

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能									3.4
Q-1 室内環境							0.40		3.5
1 音環境							2.8		2.8
1.1 騒音							2.0	0.15	-
1 暗騒音レベル							2.0	1.00	3.0
2 設備騒音対策							-	-	-
1.2 遮音							4.1	0.40	-
1 開口部遮音性能						T-2相当仕様	5.0	0.40	3.0
2 界壁遮音性能							3.0	0.30	3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						L-55相当のスラブ厚と床材	4.0	0.15	3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						L-55相当のスラブ厚と床材	4.0	0.15	3.0
1.3 吸音							2.0	0.20	3.0
2 温熱環境							3.8	0.35	-
2.1 室温制御							3.8	0.50	-
1 室温設定							3.0	0.60	3.0
2 負荷変動・追従制御性							-	-	-
3 外皮性能						窓:U=1.8W/m ² K、外壁・屋根:U=0.25W/m ² K	5.0	0.40	3.0
4 ソーン別制御性							3.0	-	-
5 温度・湿度制御							-	-	-
6 個別制御							-	-	-
7 時間外空調に対する配慮							-	-	-
8 監視システム							-	-	-
2.2 湿度制御							2.0	0.20	3.0
2.3 空調方式							5.0	0.30	3.0
									床吹出し採用、パネヒーターによる対流・輻射により上下温度差軽減
3 光・視環境							3.4	0.25	-
3.1 昼光利用							4.6	0.30	-
1 昼光率						開口部を大きくとっている。昼光率=2.8%	5.0	0.60	3.0
2 方位別開口							-	-	3.0
3 昼光利用設備							4.0	0.40	3.0
3.2 グレア対策							3.0	0.30	-
1 照明器具のグレア							-	-	-
2 昼光制御						明るさセンサーによる自動調光制御。	3.0	1.00	3.0
3.3 照度							3.0	0.15	-
1 照度							3.0	1.00	3.0
2 照度均斉度							-	-	-
3.4 照明制御							3.0	0.25	3.0
4 空気環境							3.8	0.25	-
4.1 発生源対策							5.0	0.50	-
1 化学物質汚染						F☆☆☆☆の材料を積極的に採用。他のVOCに対しても配慮	5.0	1.00	3.0
2 アスベスト対策							-	-	-
3 ダニ・カビ等							-	-	-
4 レジオネラ対策							-	-	-
4.2 換気							2.3	0.30	-
1 換気量							3.0	0.33	3.0
2 自然換気性能							1.0	0.33	3.0
3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.33	3.0
4 給気計画							-	-	-
4.3 運用管理							3.0	0.20	-
1 CO ₂ の監視							1.0	0.50	-
2 喫煙の制御						全館禁煙	5.0	0.50	-
Q-2 サービス性能							-	0.30	-
1 機能性							3.2	0.40	-
1.1 機能性・使いやすさ							4.0	0.60	-
1 広さ・収納性							3.0	-	3.0
2 高度情報通信設備対応							3.0	-	3.0
3 バリアフリー計画						移動円滑化基準を満たしている	4.0	1.00	-
1.2 心理性・快適性							2.0	0.40	-
1 広さ感・景観							1.0	0.50	3.0
2 リフレッシュスペース							3.0	-	-
3 内装計画							3.0	0.50	-
2 耐用性・信頼性							3.5	0.31	-
2.1 耐震・免震							3.8	0.48	-
1 耐震性						重要度係数=1.25	4.0	0.80	-
2 免震・制振性能							3.0	0.20	-
2.2 部品・部材の耐用年数							3.0	0.33	-
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔							3.0	0.29	-
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔							3.0	0.12	-
3 配管・配線材の更新必要間隔							3.0	0.29	-
4 主要設備機器の更新必要間隔							3.0	0.29	-
2.3 適切な更新							-	-	-
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新							-	-	-
2 配管・配線材の更新							-	-	-
3 主要設備機器の更新							-	-	-
2.4 信頼性							4.0	0.19	-
1 空調・換気設備						評価する取組み3つ	5.0	0.20	-
2 給排水・衛生設備						評価する取組み2つ	4.0	0.20	-
3 電気設備							3.0	0.20	-
4 機械・配管支持方法						耐震クラスA	4.0	0.20	-
5 通信・情報設備						NTT光・メタル・携帯回線の確保による電話・イントラの確保。地上階に機器設置	4.0	0.20	-

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性					3.3	0.29	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり				壁長さ比率=0.22 2900N/m ² ケーブルラックによる配線及び点検口により更新性に配慮。	3.4	0.31	-	-	
1 階高のゆとり					3.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ					4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり					4.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性					2.7	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性					1.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					2.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					5.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22	-	-		
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		G		建物の配置計画、緑地・植栽計画、地域・歴史性のあるレンガの採用	4.0	0.20	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮					4.5	0.40	-	-	4.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S	ビロティ、地域交流スペース、吹抜空間、見通しの良い平面構成。	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G		風を導く配置・形状計画、植栽・緑地計画、中高木の植栽やビロティ	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.9
LR-1 エネルギー						0.40	-	-	4.7
1 建物の熱負荷抑制	W			PAL値:197.6	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用					5.0	0.20	-	-	5.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W			体育館のナイトバージ、室奥へ光を導く縦型庇、トップライト	5.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S		太陽光パネル、ペレットボイラーの採用	5.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			高効率空調機、高効率照明器具の採用	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用					3.5	0.20	-	-	3.5
4.1 モニタリング	W			中央監視設備によりエネルギー消費の把握・分析が可能	4.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル						0.30	-	-	4.0
1 水資源保護						3.6	0.15	-	3.6
1.1 節水	W			自動水栓洗面器、節水FV大便器、センサー自動小便器、一部凝音装置	4.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					4.1	0.85	-	-	4.1
2.1 資源の再利用効率					4.6	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W			主要構造体に電炉鋼・高炉セメントを用いている。	5.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W			階段滑り止め、デッキ材	4.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W			遺産材を積極的に採用	4.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料				有害物質を含まない材料を積極的に採用	4.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W			躯体と仕上材が容易に分別可能。内装材と設備の分離が容易	5.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.3	0.18	-	-	
1 消火剤	W			ハロン消火剤使用なし	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境						0.30	-	-	2.8
1 大気汚染防止	W				3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.10	-	-	3.0
2.1 騒音					3.0	1.00	-	-	
2.2 振動					-	-	-	-	
2.3 悪臭					-	-	-	-	
3 風害、日照障害の抑制					2.6	0.10	-	-	2.6
3.1 風害の抑制					2.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制				日影規制に対し、ワンランク上の基準を満たす	4.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制				照明設備チェックリストを満たし、広告塔がない	4.0	0.05	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.6	0.30	-	-	3.6
6.1 雨水処理負荷抑制	W			流出係数=0.58であり、0.6以下のため	5.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制					3.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		3.0	0.30	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分 総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		9,154 m ²	-	-	-	5.0
3 設備システムのERRIによる評価		5.0	-	-	-	5
高効率化 個別設備による評価		-	-	-	-	
3.1 空調設備		5.0	-	-	-	
3.2 換気設備		3.0	-	-	-	
3.3 照明設備		5.0	-	-	-	
3.4 給湯設備		-	-	-	-	
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	